

物価高騰から区民生活を守れ

立憲民主党・無所属議員 田中 隆



物価高騰が、私たちの生活を直撃し、家計は値上げに悲鳴を上げています。①他の自治体では、コロナ禍や物価高騰により食費や医療費を払えないといった相談が増加しているようだが、区の現状と認識は、②現在の年金制度は、「物価に負ける」年金となっており、高齢者の生活への影響も懸念される。特に支援が必要な高齢者は、生活状況をより細かく把握し、プッシュ型で支援に繋げる取り組みの強化が必要ではないか。③物価高騰により電気代が上がるとなれば、エアコン等の使用控

①生活に困窮した方からの相談件数は多く、以前の水準には戻っていない状況である。状況を注視し、必要な支援に繋げていきたい。②毎年、高齢者訪問調査を行っており、支援が必要な世帯は各部署に繋がっている。今後、アウトリーチの機能強化等を図っていく。③令和3年の件数は64件であり、そのうち高齢者が62・5%である。④区報、ポスター、HP等で周知していく。⑤すこやか福祉センターによるアウトリーチ活動の充実や子ども・若者支援センター等との連携強化を進めたい。⑥積極的な情報提供を行いたい。

河川上でのドローン配送実験を始めよ

自由民主党議員 加藤 たくま



都心部の中野区でドローン配送が可能なのは、河川空間の橋の下、河道のみで、ここを活用したい研究グループも現れている。河道内でのドローン飛行を進めるべきでは、①航空法や河川法など関係法令を遵守する必要はある。その上で、安全対策が十分である場合には、河川の使用許可を行っていききたい。

沼袋小学校跡地整備を問う

北部すこやか福祉センター等の整備用地と位置付けられているが、本格的な検討は始まっていると聞く。今後どのように進めていくのか。

改善運動を改善せよ
中野区改善運動は、本選出場でなく、レベルが低い改善内容でエンターテインメントの発表内容が、逆に改善の

重度心身障害者への支援と施設計画を進めよ

公明党議員 小林 ぜんいち



①区長は重度心身障害者の家庭を訪問し実態を見聞きしたことはあるのか。②重度障害者グループホームは未だ整備に至っていない。場所等をゼロから見直してはどうか。

①家庭訪問を行うなど、当事者の様子を見たり、声を聴いてきた。②引き続き江古田三丁目区有地で整備の調整を進めていく。

現在の母子手帳には2500g未満の低体重児、身長40cm以下の低身長児の記録を記載するページがなく、我が子の成長を実感できないとの声を聞く。別冊として、成長記録を記載できるリトルベビー

るよう改善を図っては。①すこやか福祉センター圏域に2カ所設置を基本とし、すこやか福祉センターの配置数に併せて新規整備するとし、令和8・12年度の間に1カ所新設する。②整備にあわせ、仕様内容を見直し改善を検討していく。

小中学生専用の学習スペースとして土日祝日と夏休みに毎日開放している。①開設していない地域とは格差が生じると考えるがどうか。②今後、計画どおり整備すべきでは

①学校の図書館では、全区立小・中学校に図書館指導員を配置し開放して、地域格差解消を図っていく。

②検討会の中で整備の方向性を明確にしていく。

子どもの権利を保障せよ

日本共産党議員 小杉 一男



①子どもの権利条例の理念や内容をどのように周知・啓発する見直し。②子どもの権利の日となった11月20日の催しについて、子どもや区民の参加をどう考えているか。

③外国人の子どもの就学漏れをなくす努力をすべきでは。④更に広く区民等への普及・啓発を図るため、区民や団体などの協力も得ながら、効果的な普及・啓発に取り組む。⑤子ども関係施設・団体等と連携し、子どもの権利を考える機会となる取り組み

①更に広く区民等への普及・啓発を図るため、区民や団体などの協力も得ながら、効果的な普及・啓発に取り組む。②子ども関係施設・団体等と連携し、子どもの権利を考える機会となる取り組み

南台小学校(旧新山小学校)の跡地活用を問う

立憲民主党・無所属議員 河合 りな



跡地の9割が国有地であることから、防災まちづくり用地として購入を検討し、国との協議を求めてきた。学校としての使用が終わる2024年から逆算し、具体的なスケジュールを示すべきでは。

①都から児童相談所が移管されて3カ月ほど経つが、気づいた点は、②本年4月から保育園待機児童がゼロになったが、その継続には一定の定員の空きが前提となる。待機児童ゼロ達成後の取り組みについて早急に考え方をまとめたい。

③常設のプレパークの設置を考慮しており、実施可能な場所以について検討を進めている。

①子どもの安全と公園利用者の快適性を鑑み喫煙所の場所を変更しては。②植栽ではない方法で分煙を実施しては。③過剰に周囲の目を気にする社会状況の中で窮屈な思いをしている子どもや子育て家庭にとって、プレパークはやりたかったことを実行できる場所であり、子ども

関が協働し、早期発見・把握や適切な支援サービスにつなげ、伴走型の支援を行い、ケアを受けている家族、ヤングケアラー自身への相談・支援体制を整えることを目指す。

安全な道路交通を実現せよ
区民から、江古田四丁目交番前交差点に信号機と横断歩道の早期設置が望まれている。区は、信号機や横断歩道の設

